

試験鑑定証明書

DLH22-BC 00000

依頼者 株式会社ニッセンケン染色 殿

2022年12月12日

品番(品名) 下記参照

一般財団法人
ニッセンケン品質評価センター
バイオケミカル事業部 バイオケミカルグループ

数量 1 点

2022年11月11日 に提出された試料について試験の結果、下記の通りであることを証明します。

- 試験試料 (1) 抗ウイルス加工布
- I. 試験項目 抗ウイルス性試験
- II. 試験実施場所 バイオケミカル事業部 バイオケミカルグループ
- III. 試験方法 JIS L 1922:2016 繊維製品の抗ウイルス性試験方法
- IV. 測定方法 ブラーク測定法
- V. 試験ウイルス 1. Influenza A virus : A/Hong Kong/8/68 (H3N2) ATCC VR-1679
- VI. 規格からの逸脱事項 なし
- VII. 試験結果

【試験ウイルス液】

ウイルス	1
感染価 (PFU/mL)	1.75×10^7

【対照試験(予備試験)】

ウイルス	区分	細胞毒性試験		細胞のウイルスへの感受性確認試験	
		希釈倍率		感染価対数値	対照試料との対数値差
		10^0	10^1		
1	標準綿布			2.560	
	(1) 原布	無	無	2.524	0.0
	10回処理品 **	無	無	2.515	0.0

【本試験】

<対照試料>

ウイルス	区分	感染価対数値	減少値 M $\text{Log}(V_a) - \text{Log}(V_b)$
1	綿標準布	接種直後 $\text{Log}(V_a)$	6.326
		2hr反応後 $\text{Log}(V_b)$	6.151

減少値が1未満で、 $\text{Log}(V_a)$ が $\text{Log}(V_b)$ を超える場合

<試験試料>

ウイルス	区分	感染価対数値	抗ウイルス活性値 [Mv]	抗ウイルス活性値(*)
			$\text{Log}(V_b) - \text{Log}(V_c)$	$\text{Log}(V_a) - \text{Log}(V_c)$
1	(1) 原布	2hr反応後 $\text{Log}(V_c)$	3.6	3.8
	10回処理品 **	2hr反応後 $\text{Log}(V_c)$	2.9	3.1

【基準値】

JISには抗ウイルス活性値の参考基準が以下の通り記載されています。
 $3 > Mv \geq 2.0$: 効果あり
 $Mv \geq 3.0$: 十分な効果あり
 また、SEKの評価基準は $Mv \geq 3.0$ です。

* 減少値 $M < 1.0$ かつ $\text{Log}(V_a)$ が $\text{Log}(V_b)$ を超えるため、 $\text{Log}(V_b)$ を $\text{Log}(V_a)$ に置き換えた活性値を付記する。
 ** 前処理方法: SEK標準洗濯法(JAFET標準薬剤使用)

減少値が1以上、または $\text{Log}(V_a)$ が $\text{Log}(V_b)$ より小さい場合

試 料

この証明書に記載の試験結果は供試試料に対するものであり、荷口(ロット)全体の品質を証明するものではありません。